

## はーばーらいと

著者名： 著：吉本ばなな  
出版社： 。出版社：晶文社

信仰と自由、初恋と友情、訣別と回復。  
淡々と歌うように生きるさまが誰かを救う、完全書き下ろし小説。

## 十戒

著者名： 著：タ木 春央  
出版社： 。出版社：講談社

浪人中の里英は、父と共に、伯父が所有していた枝内島を訪れた。島内にリゾート施設を開業するため集まった9人の関係者たち。島の視察を終えた翌朝、不動産会社の社員が殺され、そして、十の戒律が書かれた紙片が落ちていた。“この島にいる間、殺人犯が誰か知ろうとしてはならない。守られなかった場合、島内の爆弾の起爆装置が作動し、全員の命が失われる”。犯人が下す神罰を恐れながら、「十戒」に従う3日間が始まった。週刊文春ミステリーベスト10（「週刊文春」2022年12月8日号）国内部門&MRC大賞2022など4冠に輝き、ミステリー界を震撼させた『方舟』タ木春央、待望の最新作！

## 獣の夜

著者名： 著：森絵都  
出版社： 。出版社：朝日新聞出版

女ともだちをサプライズパーティに連れ出す予定が…短編の名手である著者が、日常がぐらりと揺らぐ瞬間を、ときにつややかにときにユーモラスにつづった傑作短編集。

## マリエ

著者名： 著：千早 茜  
出版社： 。出版社：文藝春秋

桐原まりえは40歳を手前に離婚した。夫の森崎に「恋愛がしたい」と切り出され、2年近い話し合いの時期を経て、7年半の結婚生活に終止符を打ったのだ。理由にはいまも納得がいかないまりえだったが、自分はもう誰にも属していない、そう思うと心は軽やかだった。離婚届を提出する朝、寂しさよりも、手放して一人になることの清々しさをこそ感じたのだ。すべて自分の自由にできる生活が一番大事でそれを危うくする欲望に呑み込まれたくはないのだ。でも、なにか不安で、なにか取りこぼしている気がする……。

## 契り橋 あきない世傳 金と銀 特別巻(上)

著者名： 著：高田 郁  
出版社： 。出版社：角川春樹事務所

シリーズを彩ったさまざまな登場人物たちのうち、四人を各編の主役に据えた短編集。  
商い一筋、ひたむきに懸命に生きてきたひとびとの、切なくとも幸せに至る物語の開幕。

## ホテル・カイザリン

著者名： 著：近藤史恵  
出版社： 。出版社：光文社

他人のものばかり欲しがらぬあの子。いるはずのない住人の気配。妻と別れた男に訪れた非日常……。隠された真実に気づかせてくれる珠玉の作品集。

## 遠火 警視庁強行犯係・樋口顕

著者名： 著：今野 敏  
出版社： 。出版社：幻冬舎

東京・奥多摩の山中で他殺体が発見された。警視庁捜査一課の樋口班は現場に急行。調べを進めていくと、殺されたのは渋谷署の係員が職質をしたことがある女子高生で、売春の噂があったことが判明する。樋口顕は被害者の友人である美人女子高生と戸外で面会。すると、その様子を撮影した何者かによってインターネット上に写真を流され、同僚やマスコミから、あらぬ疑いをかけられてしまう。秀でた能力があるわけではなく、他人を立てることを優先し、家族も大切にしながら、数々の難事件を解決してきた樋口。謀略を打ち破り、殺人事件の真相に辿り着くことができるのか。

## かっかどるどるどう

著者名： 著：若竹 千佐子  
出版社： 。出版社：河出書房新社

68万部突破、全国に感涙を与えた文藝賞・芥川賞受賞作『おらおらでひとりいぐも』から6年。「みんなで生きる」がテーマの新境地！

## 母という呪縛 娘という牢獄

著者名： 著：齊藤 彩  
出版社： 。出版社：講談社

深夜3時42分。母を殺した娘は、ツイッターに、「モンスターを倒した。これで一安心だ。」と投稿した。18文字の投稿は、その意味するところを誰にも悟られないまま、放置されていた。2018年3月10日、土曜日の昼下がり。滋賀県、琵琶湖の南側の野洲川南流河川敷で、両手、両足、頭部のない、体幹部だけの人の遺体が発見された。遺体は激しく腐敗して悪臭を放っており、多数のトンビが群がっているところを、通りかかった住民が目止めたのである。家族とのDNA鑑定から、ようやく身元が判明した――。

## 台湾漫遊鉄道のふたり

著者名： 著：楊双子  
出版社： 。出版社：中央公論新社

炒米粉、魯肉飯、冬瓜茶……あなたとなら何十杯でも――。結婚から逃げる日本人作家・千鶴子と、お仕着せの許婚をもつ台湾人通訳・千鶴。ふたりは底知れぬ食欲と“秘めた傷”をお供に、昭和十三年、台湾縦貫鉄道の旅に出る。